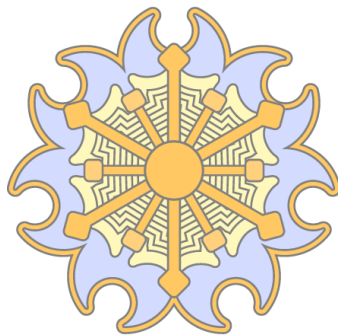


令和 7 年 版

消 防 年 報

(令和 8 年 刊 行)



宮古地区広域行政組合消防本部

は し が き

この消防年報は、令和7年（一部令和8年度）中における宮古地区広域行政組合管内の消防業務及び諸般の現況を収録したもので、その実態を紹介し、消防体制についてご理解をいただくとともに今後の参考に編さんしたものです。

令和8年7月

宮古地区広域行政組合消防本部

目 次

概 要

1 組合消防の沿革	1
2 宮古広域管内の概況	10
3 宮古地区広域行政組合消防本部の組織	11
4 消防本部及び消防署所の配置図	12
5 消防庁舎の現況	13
6 年度別一般会計当初予算の状況	
(1)歳 入	17
(2)歳 出	17
7 総 務	
(1)消防職員の定数及び実員	18
(2)消防職員の退職及び採用状況	18
(3)消防職員の配置状況	18
(4)階級別年齢	19
(5)階級別勤続年数	19
(6)消防職員の資格取得状況	20
(7)岩手県消防学校教育派遣状況	21
(8)消防大学校及び救急救命士教育派遣状況	21
(9)その他の研修状況	22
(10)表 彰	22
(11)ホームページ	22
8 予 防	
(1)予防査察	23
(2)防火管理再講習	23
(3)消防用設備等の着工及び設置の届出	23
(4)消防用設備等の点検結果報告	23
(5)防火対象物定期点検報告制度	24
(6)防災規制	24
(7)防火対象物表示制度	24
(8)危険物規制	25
(9)住宅防火対策	25
(10)林野火災予防対策	25
9 警 防	
(1)消防車両	26
(2)消防水利	26

10 いわて消防指令センター	26
11 火 災	26
12 救急活動状況	27
13 防災ヘリ・ドクターヘリによる救急搬送	27
14 救助活動状況	27
15 緊急消防援助隊	28

資 料

予防編

防火対象物の現況	29
中高層建築物・深層建築物の状況	30
消防用設備等設置状況	31
用途別建築同意処理状況	32
危険物施設の現況	33
危険物施設の査察実施状況	33
危険物関係事務処理状況	34
危険物関係手数料徴収状況	34
林野火災警報の発令状況	35
林野火災注意報の発令状況	35

警防編

所属別消防車両等配置状況	36
所属別主力機械の現況	37
市町村別消防水利の現況	39

通信編

通信施設・装置の状況	40
火災等の覚知状況	41
119 番の受信状況	42
気象予警報・津波予報等の発表状況	43

火災編

火災の発生状況	47
火災の月別の発生状況	48
火災原因別出火件数	48
過去 10 年間の出火件数の推移(市町村別)	49
過去 10 年間の出火件数の推移(種別)	49
過去 10 年間の火災による損害額の推移(市町村別)	50

過去 10 年間の火災による損害額の推移(種別)	50
救急編	
救急活動状況	51
救急出動の月別の状況	52
搬送人員の月別の状況	52
救急出動の曜日別の状況	53
救急出動の時間別の状況	53
救急出動の現場到着所要時間別の状況	54
搬送人員の収容所要時間別の状況	54
搬送人員の傷病程度別の状況	55
搬送人員の年齢区分別の状況	55
過去 10 年間の救急出動件数の推移(所属別)	56
過去 10 年間の救急出動件数の推移(種別)	56
救助編	
救助活動状況	57
過去 10 年間の救助出動件数の推移(所属別)	58
過去 10 年間の救助出動件数の推移(種別)	58
消防団編	
消防力の現況	59
年齢別消防団員数	59
在職年数別消防団員数	60

概 要

1 組合消防の沿革

昭和 47 年 7月	宮古地区広域市町村圏協議会を結成する。
昭和 48 年 4月	宮古地区広域道路舗装組合を設立する。
昭和 49 年 4月	道路舗装組合と合併、名称を宮古地区広域消防等組合と改称し、圏内の中核である宮古市に消防本部を置き、宮古消防署に地域的事務を分掌させるため、田老町、田野畑村、新里村、川井村にそれぞれ宮古消防署の分署を新設、山田町には従来からの山田町消防団常備消防部を消防署に昇格させ、岩泉町に消防署を新設して広域消防を発足する。
12 月	釜石海上保安部と業務協定(船舶及び流出油の火災)を締結する。
昭和 50 年 5月	岩手県内の市及び一部事務組合と消防相互応援協定を締結する。
7月	盛岡地区広域行政事務組合と川井村大字田代地区の救急業務応援協定を締結する。
昭和 55 年 3月	規約の変更により名称を宮古地区広域消防組合に改める。
昭和 56 年 4月	宮古地区広域消防組合事務局を消防本部に統合し、消防本部の機構を3課制に改正する。
6月	消防本部・宮古消防署を移転新築する。
昭和 59 年 4月	宮古消防署にはしご付消防ポンプ自動車(24m級)を配置する。 〃 〃 〃 に救急自動車を更新配置する。
11 月	宮古消防署に救助工作車を配置する。 川井分署に救急自動車を更新配置する。
昭和 60 年 3月	宮古市(赤前地区)に空中消火等補給基地を整備する。 ○ ヘリコプター離発着用広場 18,357 m ² ○ 貯水槽、40m ³ ×2基 ○ 資機材保管等施設 ○ 空中消火用資機材
昭和 61 年 1月	宮古消防署に化学消防ポンプ自動車を配置する。 岩泉消防署に山林スプレーヤーを配置する。
3月	田老分署に救急自動車を更新配置する。 新里分署に救急自動車を更新配置する。 岩手県内の市及び一部事務組合と締結している消防相互応援協定を改正し、救急及び救助事務を追加する。
12 月	宮古消防署に資機材搬送車を更新配置する。 〃 〃 〃 に指導車を更新配置する。

昭和 62 年 2月	田野畑分署に救急自動車を更新配置する。
3月	山田消防署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。 岩泉消防署に指導車を更新配置する。 新里分署に指導車を更新配置する。 川井分署に指導車を更新配置する。
7月	宮古地区広域消防組合に宮古地区広域市町村圏協議会、宮古 下閉伊食肉処理組合、岩泉町、田野畑村伝染病隔離病舎組合及 び陸中衛生処理組合を統合して宮古地区広域行政組合を発足す る。
10 月	田老分署に小型動力ポンプ(B3級)を配置する。
11 月	山田消防署に指導車を配置する。 〃 に救急自動車を更新配置する。
昭和 63 年 2月	宮古消防署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。
3月	宮古消防署に救急自動車を更新配置する。
10 月	田野畑分署に指導車を更新配置する。
11 月	田老分署庁舎を増改築する。 川井分署庁舎を改築する。
平成 元年 1月	田老分署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。 川井分署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。
10 月	宮古消防署に消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を更新配置する。 〃 に指導車を更新配置する。 新里分署に小型動力ポンプ(B3級)を配置する。
平成 2年 10 月	岩泉消防署に小型動力ポンプ(B3級)を配置する。
平成 3年 1月	山田消防署に資機材搬送車を配置する。
3月	宮古消防署に小型動力ポンプ付水槽車(Ⅱ型)を配置する。 岩泉消防署庁舎を増改築する。 田老分署庁舎を改築する。 新里分署庁舎を増改築する。
10 月	川井分署に小型動力ポンプ(B3級)を更新配置する。
平成 4年 2月	岩泉消防署に救急自動車を更新配置する。
3月	田老分署にホース乾燥塔を整備する。 田野畑分署庁舎を改築する。
11 月	宮古消防署に乗用車を更新配置する。
平成 5年 1月	岩泉消防署に指導車を更新配置する。 〃 に無線機移動局(1基)を配置する。 新里分署に消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を更新配置する。

平成 6年	2月	岩泉消防署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。
	3月	十二神山無線中継局を開局する。
	4月	宮古消防署に高規格救急自動車(損害保険協会寄贈)を配置する。
平成 7年	6月	高規格救急自動車の運用を開始する。
	1月	宮古消防署に指令車を更新配置する。
		〃 に救助用資機材(一式)を配置する。
	2月	山田消防署に高規格救急自動車を配置する。
		岩泉消防署に高規格救急自動車を配置する。
平成 8年	3月	宮古消防署に高度救急教育訓練用資機材(一式)を配置する。
	4月	山田消防署を移転新築する。
	2月	宮古消防署に指導車を更新配置する。
		岩泉消防署に救助用資機材(一式)を配置する。
		田老分署に救助用資機材(一式)を配置する。
		新里分署に救助用資機材(一式)を配置する。
		川井分署に高規格救急自動車を配置する。
	7月	宮古消防署にマイクロバスを更新配置する。
	2月	宮古消防署に消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を更新配置する。
		山田消防署に指導車を更新配置する。
平成 10年		岩泉消防署に指導車を更新配置する。
		田老分署に高規格救急自動車を配置する。
		新里分署に高規格救急自動車を配置する。
	3月	山田消防署に小型動力ポンプ付水槽車(Ⅱ型)を配置する。
	1月	田野畑分署に救助用資機材(一式)を配置する。
	3月	宮古消防署に高規格救急自動車(災害対応特殊救急自動車)を配置する。
		山田消防署に救助工作車(Ⅱ型)を配置する。
		〃 に消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を更新配置する。
		岩泉消防署に消防緊急通信指令装置を更新整備する。
		田老分署に指導車を更新配置する。
		田野畑分署に高規格救急自動車を配置する。
		新里分署に指導車を更新配置する。
平成 11年		川井分署に指導車を更新配置する。
	4月	全職員に消防無線用受信機を貸与する。
	2月	山田消防署に指導車を更新配置する。
	3月	山田消防署に高規格救急自動車を配置する。

	10月	田野畑分署に指導車を更新配置する。
平成12年	3月	宮古消防署に広報車を更新配置する。 山田消防署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。 田野畑分署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。 川井分署に119番通報受付装置を整備する。
	6月	平津戸無線中継局を開局する。
	8月	山田消防署に小型動力ポンプ(B3級)を配置する。
平成13年	3月	消防本部に消防緊急通信指令施設(Ⅰ型)を更新整備する。 宮古消防署に消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を更新配置する。 岩泉消防署に高規格救急自動車を配置する。
	4月	消防緊急通信指令施設の運用を開始する。 消防本部ホームページを開設する。 消防本部の組織改編により指令課を新設し、同課に指令第一係・指令第二係を設置して、3課5係体制とする。また、課長補佐・主査制度を導入する。消防署の組織改編により、分署に係長制度を導入し、併せて消防署次席を副署長に、分署長代理を副分署長に改称する。 消防本部消防計画を策定する。 岩手県内の市及び一部事務組合と締結している消防相互応援協定を全部改正し、火災原因調査支援体制を追加する。
	6月	消防本部行政改革大綱を策定する。
平成14年	10月	宮古消防署に指導車を更新配置する。
	1月	消防職員の定数条例を183名から253名に改正する。
	3月	宮古消防署に屈折はしご付消防ポンプ自動車(20m級)を更新配置する。 小松山無線中継局を開局する。
	8月	宮古消防署に小型動力ポンプ(B3級)を更新配置する。 田老分署に小型動力ポンプ(B3級)を更新配置する。 田野畑分署に小型動力ポンプ(B3級)を配置する。
	9月	消防本部ネットワークシステムの運用を開始する。
	10月	宮古消防署に資機材搬送車を更新配置する。 岩泉消防署に指導車を更新配置する。
平成15年	11月	宮古消防署庁舎の暖房配管を改修する。
	3月	宮古消防署に高規格救急自動車を更新配置する。 川井分署に資機材搬送車を配置する。 宮古地域メディカルコントロール協議会を設立する。

4月	川井分署庁舎を移転新築する。
10月	交代制勤務を二部制から三部制に移行する。
	山田消防署に資機材搬送車を更新配置する。
平成 16 年 3月	宮古消防署に救助工作車(Ⅱ型)を更新配置する。
	岩泉消防署に消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を更新配置する。
4月	消防本部の組織改編により指令課を廃止し、総務課に職員係を設置して、2課4係体制とする。
平成 17 年 3月	宮古消防署に化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。
	川井分署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。
平成 18 年 3月	宮古消防署に高規格救急自動車を更新配置する。
12月	宮古消防署に指導車を更新配置する。
	新里分署に小型動力ポンプ(B3級)を更新配置する。
	天ヶ森無線中継局の通信機器を更新整備する。
平成 20 年 2月	岩泉消防署に高規格救急自動車を更新配置する。
	川井分署に高規格救急自動車を更新配置する。
3月	宮古消防署の補助訓練塔を改修する。
11月	山田消防署に高規格救急自動車を更新配置する。
	岩泉消防署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。
	田老分署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。
平成 21 年 3月	田老地区及び新里地区の 119 番集中受付を開始する。
5月	宮古消防署のプールろ過機を改修する。
8月	宮古消防署に空気ボンベ用高圧コンプレッサーを更新配置する。
9月	宮古消防署に広報車を更新配置する。
平成 22 年 3月	宮古消防署に小型動力ポンプ付水槽車(Ⅱ型)を更新配置する。
	岩泉消防署に指導車を更新配置する。
	田老分署に高規格救急自動車を更新配置する。
	新里分署に高規格救急自動車を更新配置する。
7月	宮古消防署に業務車を更新配置する。
11月	岩泉消防署庁舎の耐震診断を実施する。
12月	川井分署に指導車を更新配置する。
平成 23 年 1月	新里分署の車庫を増築する。
2月	宮古消防署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。
	新里分署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。
3月	宮古消防署に高規格救急自動車を更新配置する。
	田野畑分署に高規格救急自動車を更新配置する。

	東北地方太平洋沖地震大津波襲来(東日本大震災)
	○ 職員4名殉職、1名負傷
	○ 山田消防署庁舎半壊、田老分署庁舎全壊、空中消火等補給基地全壊
	○ 車両8台損壊
6月	宮古消防署庁舎の耐震診断を実施する。
7月	東日本大震災による消防職員合同慰霊祭を挙げる。
8月	川井分署に小型動力ポンプ(B3級)を更新配置する。
10月	田野畑分署に指導車を更新配置する。
11月	田老分署に小型動力ポンプ(B3級)を更新配置(災害復旧)する。
12月	宮古消防署に高規格救急自動車(名古屋市寄贈)を更新配置(災害復旧)する。
	田老分署に仮設車庫を整備(災害復旧工事)する。
平成 24 年 2月	田老分署に指導車を更新配置(災害復旧)する。
3月	宮古消防署に指導2号車を更新配置(災害復旧)する。
	山田消防署庁舎を仮復旧(災害復旧工事)する。
	〃 に指導1号車を更新配置(災害復旧)する。
	〃 に指導2号車を更新配置(災害復旧)する。
	〃 に資機材搬送車を更新配置(災害復旧)する。
	〃 に小型動力ポンプ(B3級)を更新配置(災害復旧)する。
	田老分署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置(災害復旧)する。
	〃 に高規格救急自動車を更新配置(災害復旧)する。
	川井地区の119番集中受付を開始する。
	東日本大震災による消防職員殉職者追悼式を挙げる。
平成 25 年 3月	宮古消防署に高規格救急自動車を更新配置(災害復旧)する。
	東日本大震災による消防職員殉職者追悼式を挙げる。
7月	岩泉消防署庁舎を増改築する。
10月	宮古消防署庁舎(女性消防職員専用施設)を改修する。
11月	宮古消防署構内の舗装を改修する。
平成 26 年 2月	新里分署に指導車を更新配置する。
3月	消防救急デジタル無線を整備(災害復旧工事)する。
	宮古消防署庁舎の屋根を改修(防水等工事)する。
	〃 に消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配置する。
	山田消防署に高規格救急自動車を更新配置する。

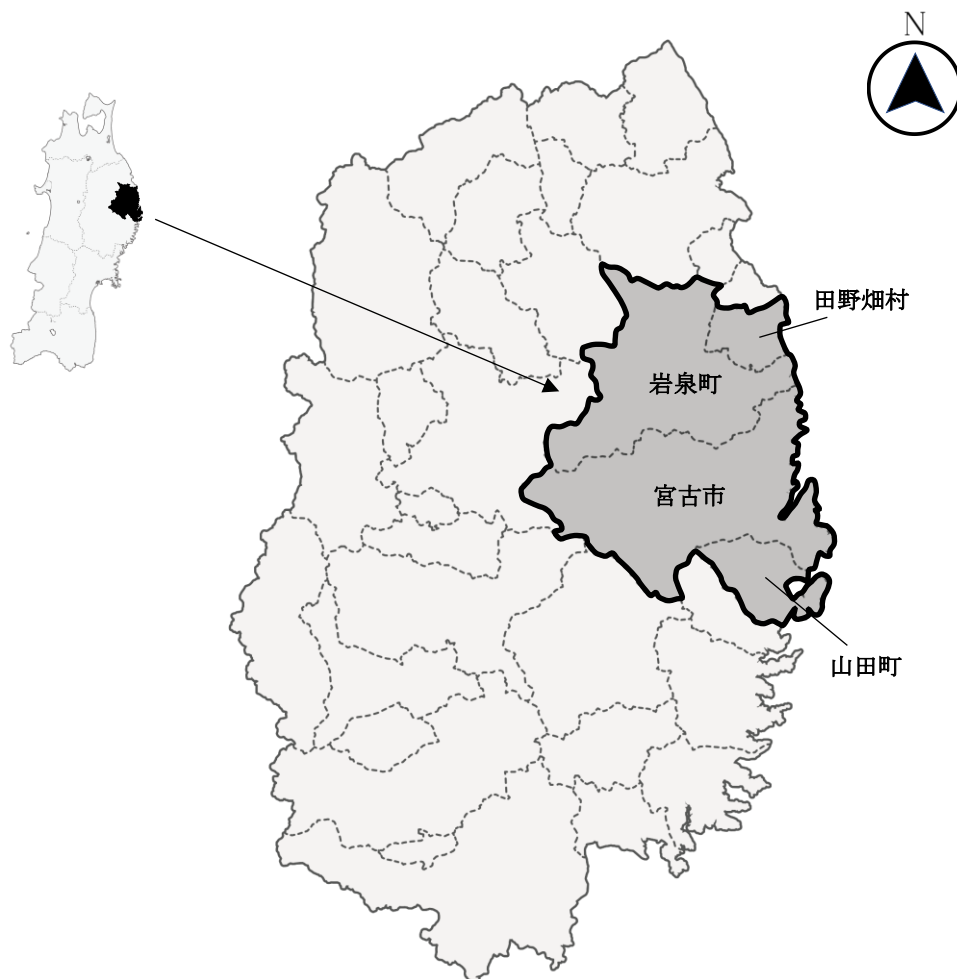
		岩泉消防署に資機材搬送車を配置する。 東日本大震災による消防職員殉職者追悼式を挙げる。
	8月	宮古消防署車庫のシャッターを改修する。
	12月	新里分署庁舎の耐震診断を実施する。
平成 27 年	1月	田野畑分署庁舎を田野畑村中央防災センターへ移転する。
	2月	岩泉消防署に高規格救急自動車を更新配置する。
	3月	消防本部の消防緊急通信指令施設を改修する。
		宮古消防署に指令車を更新配置する。
	10月	宮古消防署の暖房用オイル配管を改修する。
平成 28 年	2月	岩泉消防署に指導車を更新配置する。
	3月	田老分署庁舎を移転新築(災害復旧工事)する。
	8月	台風 10 号襲来(太平洋側から上陸) ○ 職員1名負傷 ○ 岩泉消防署庁舎床上浸水
	10月	消防無線アナログ設備(局舎)を解体撤去する。
	12月	12 誘導心電図伝送システムの運用を開始する。 宮古消防署に指導1号車を更新配置する。
平成 29 年	1月	田野畑分署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。
	2月	宮古消防署に人員輸送車を更新配置する。 〃 庁舎の耐震補強工事を実施する。
	3月	山田消防署に小型動力ポンプ付水槽車(Ⅱ型)を更新配置する。 岩泉消防署に救助工作車(Ⅱ型)を配置する。
	4月	消防本部に通信指令センターを設置し、広域管内すべての通信指令業務を専任職員体制により一元化する。 消防本部の組織改編により指令課を新設し、同課に管理係、指令係、情報係を設置して3課7係体制とする。
	12月	山田消防署、岩泉消防署及び田野畑分署の 119 番通報受付集中化に伴い消防本部の消防緊急通信指令システムを改修する。 宮古消防署庁舎1階屋上を改修(防水工事)する。
平成 30 年	1月	山田消防署庁舎を移転新築(災害復旧工事)する。
	2月	宮古消防署車庫の排ガス排出システムを改修する。
	3月	宮古消防署に消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)(2台)を更新配置する。 山田消防署に消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を更新配置する。 〃 に高規格救急自動車を更新配置する。
	8月	田野畑分署に救助用資機材を配置する。

		川井分署庁舎の屋根を改修(塗装工事)する。
	9月	岩泉消防署に空気ボンベ用高圧コンプレッサーを配置する。
	11月	宮古消防署の補助訓練塔を改修する。
平成 31 年	1月	川井分署に高規格救急自動車を更新配置する。
	3月	宮古消防署に資機材搬送車を更新配置する。
		山田消防署に救助工作車(Ⅱ型)を更新配置する。
		川井分署に資機材搬送車を更新配置する。
令和 元年	6月	宮古消防署庁舎の外壁を改修する。
	9月	田野畑分署に小型動力ポンプ(B3級)を更新配置する。
令和 2年	2月	岩泉消防署に消防ポンプ自動車(CD-I 型)を更新配置する。
	3月	宮古消防署に化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。
		〃 〃 に高規格救急自動車を更新配置する。
		山田消防署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。
		新里分署の庁舎を宮古市役所新里庁舎へ移転する。
	6月	高規格救急自動車(全 11 台)に救急車用オゾン除菌装置を配置する。
	9月	新里分署に救助用資機材を配置する。
		川井分署に救助用資機材を配置する。
		消防無線アナログ設備(毛無森中継局舎)を解体撤去する。
	11月	旧新里分署庁舎を解体撤去する。
令和 3年	2月	消防本部の消防緊急通信指令装置(情報系)を改修する。
	3月	宮古消防署に救助工作車(Ⅱ型)を更新配置する。
		岩泉消防署に高規格救急自動車を更新配置する。
		消防本部ホームページをリニューアルする。
	10月	宮古消防署の非常用予備発電装置ラジエターを改修する。
		〃 〃 の地下タンクを改修(ライニング等工事)する。
		〃 〃 の浴室等を改修する。
		〃 〃 にボートトレーラーを配置する。
		山田消防署にボートトレーラーを配置する。
	11月	無人航空機(ドローン)を整備する。
令和 4年	2月	宮古消防署の変電設備を改修する。
	3月	宮古消防署に高規格救急自動車(2台)を更新配置する。
令和 5年	3月	山田消防署に高規格救急自動車を更新配置する。
		田野畑分署に高規格救急自動車を更新配置する。
		新里分署に高規格救急自動車を更新配置する。
	8月	川井分署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。

令和 6年	2月	宮古消防署に屈折はしご付消防自動車(20m 級)を更新配置する。
		田老分署に高規格救急自動車を更新配置する。
	3月	岩泉消防署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。
	10月	宮古消防署の照明器具を改修(LED 化)する。
	12月	岩泉消防署庁舎(女性消防職員専用施設)を改修する。
		田老分署庁舎(女性消防職員専用施設)を改修する。
		田野畑分署庁舎(女性消防職員専用施設)を改修する。
		川井分署庁舎(女性消防職員専用施設)を改修する。
令和 7年	1月	宮古消防署に災害対応型非常用発電設備を更新整備する。
	3月	岩泉消防署に高規格救急自動車を更新配置する。
	5月	無人航空機(ドローン)を整備する。
令和 8年	2月	消防通信指令業務の共同運用に伴い消防指令システム及び消防救急デジタル無線システムを整備する。
	4月	消防本部の組織改編により指令課(通信指令センター)を廃止し、2課4係体制とする。また、消防署の組織改編により副主幹制度を導入するほか、分署の係長制度を廃止する。
		県内 10 消防本部による「いわて消防指令センター」の運用を開始する。

2 宮古広域管内の概況

宮古地区広域行政組合の管内は、宮古市、山田町、岩泉町及び田野畑村の1市2町1村の地域です。



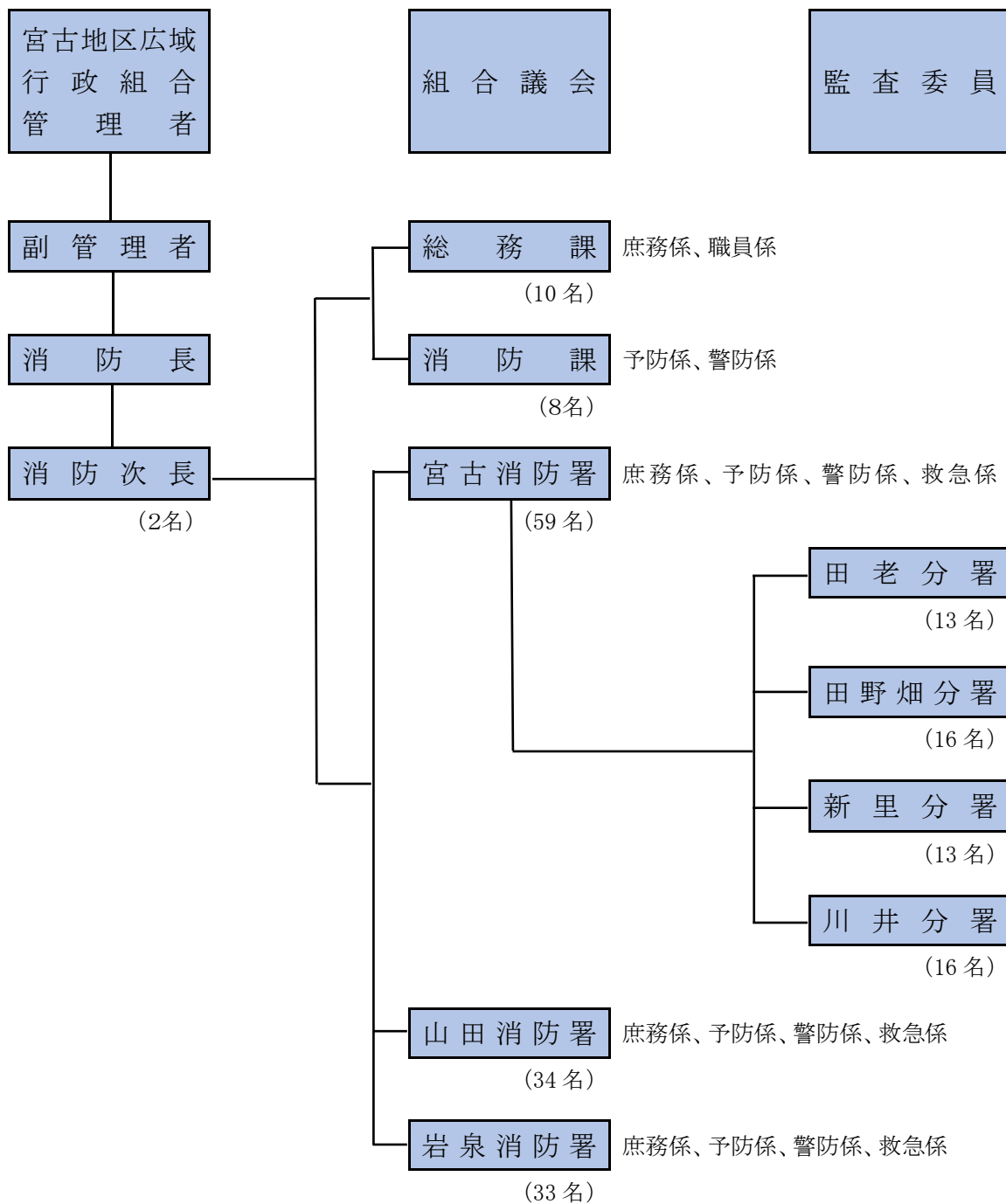
令和8年4月1日現在

区分 市町村別	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	消防吏員数 (人)	消防吏員1人当たり	
					人口	世帯数
宮古市	1,259.18	44,101	22,136	101	436.6	219.2
山田町	262.81	13,350	6,312	34	392.6	185.6
岩泉町	992.36	7,545	3,974	33	228.6	120.4
田野畑村	156.19	2,763	1,308	16	172.7	81.8
合計	2,670.54	67,759	33,730	184	368.3	183.3

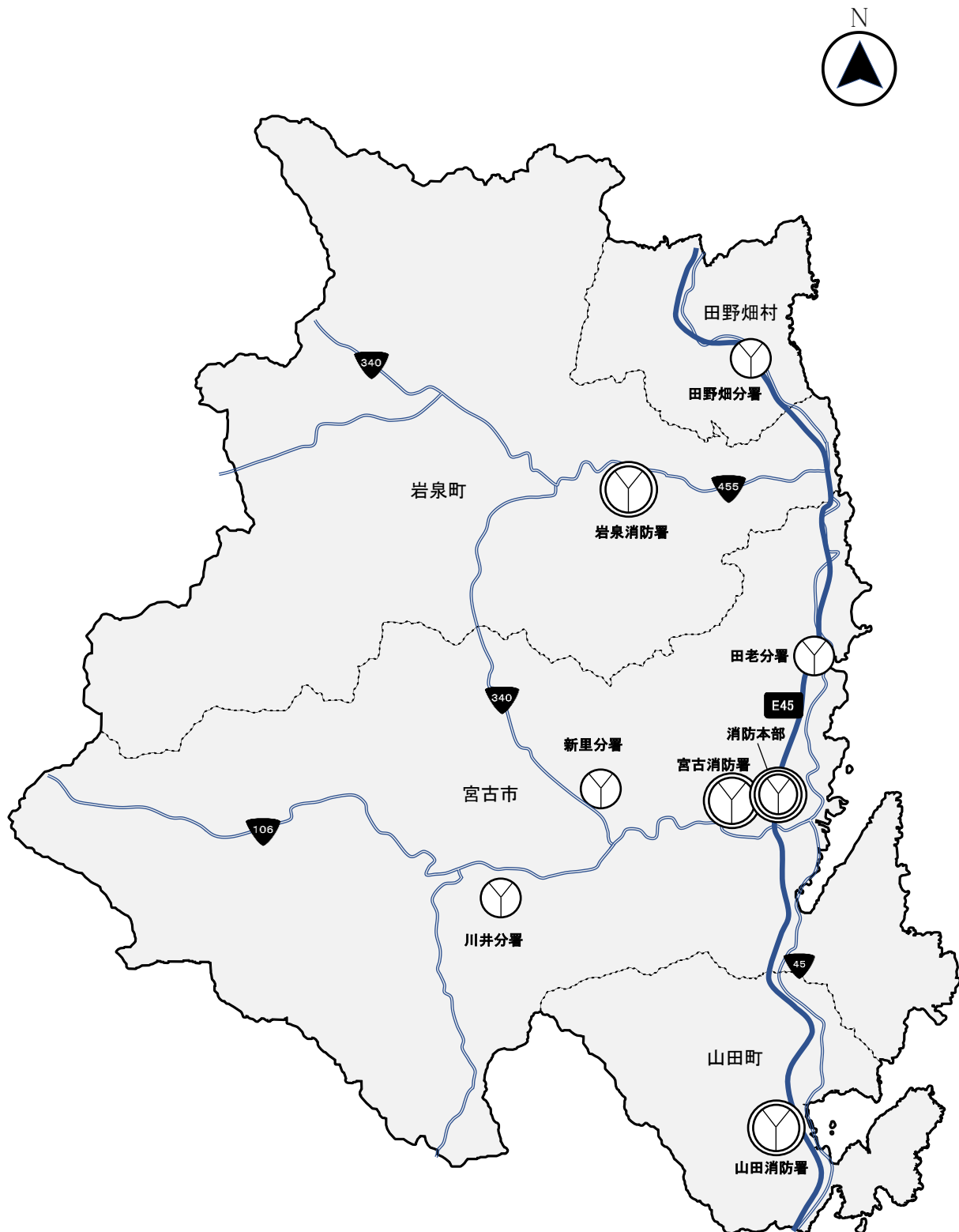
注：消防吏員数は、消防本部吏員21人を除く。

3 宮古地区広域行政組合消防本部の組織

宮古地区広域行政組合消防本部は、2課、3消防署、4分署で組織しています。
令和8年4月1日現在の職員の実員数は 205 名です。



4 消防本部及び消防署所の配置図



5 消防庁舎の現況

消防本部・宮古消防署



所在地 : 宮古市五月町2番1号
建築年月 : 昭和 56 年 10 月 構造 : 鉄筋コンクリート造3階建
敷地面積 : 11,900.23 m² 庁舎面積 : 2,899.61 m²
主な施設
・訓練塔(地上6階高さ 28m)及び補助訓練塔
・自家用給油所(ガソリン・軽油)
・ヘリポート(訓練場兼用)

山田消防署



所在地 : 下閉伊郡山田町飯岡第1地割 21 番地4
建築年月 : 平成 30 年2月 構造 : 鉄筋コンクリート造2階建
敷地面積 : 6,705.77 m² 庁舎面積 : 1,406.56 m²
主な施設
・訓練塔(地上6階高さ 19m)及び補助訓練塔

岩泉消防署



所在地 : 下閉伊郡岩泉町岩泉字中野 40 番地 50
建築年月 : 昭和 50 年 3 月 構造 : 鉄骨モルタル造 2 階建
敷地面積 : 1,091.23 m² 庁舎面積 : 936.71 m²
その他 ・平成 25 年 7 月 全面増改築(増築面積 362.47 m²)
 ・令和 6 年 12 月 女性消防職員専用施設増築(増築面積 48.16 m²)

田老分署



所在地 : 宮古市田老三王一丁目 1 番 2 号
建築年月 : 平成 28 年 3 月 構造 : 鉄骨造 平屋建
敷地面積 : 2,150.79 m² 庁舎面積 : 400.10 m²

田野畑分署



所 在 地 : 下閉伊郡田野畑村菅窪 43 番地4(田野畑村中央防災センター)
建 築 年 月 : 平成 26 年 12 月 構 造 : 鉄骨造2階建
敷 地 面 積 : 2,321.55 m² 庁 舎 面 積 : 736.14 m²

新里分署



所 在 地 : 宮古市茂市第2地割 112 番地1(宮古市役所新里庁舎)
建 築 年 月 : 昭和 56 年8月 構 造 : 鉄筋コンクリート造3階建
敷 地 面 積 : 8,336.74 m² 鉄骨平屋建(車庫棟)
供 用 開 始 令和2年3月 供 用 面 積 : 325.78 m²
(新里庁舎2階及び車庫棟の一部) : 234.00 m²(車庫棟)

川井分署



所 在 地 : 宮古市川井第5地割 102 番地1

建 築 年 月 : 平成 15 年3月

構 造 : 鉄筋コンクリート造2階建

敷 地 面 積 : 1,754.68 m²

庁 舎 面 積 : 699.67 m²

6 年度別一般会計当初予算の状況

(1)歳 入

年度 款別		令和8年度 予算額(千円)	令和7年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	伸 率 (%)
1	分担金及び負担金	3,963,052 (2,245,738)	4,006,430 (2,762,759)	▲43,378 (▲517,021)	▲1.1 (▲18.7)
2	使用料及び手数料	39,257 (404)	40,592 (704)	▲1,335 (▲300)	▲3.3 (▲42.6)
3	国庫支出金	154,867	4,734	150,133	3,171.4
4	県支出金	16,798 (16,798)	8,716 (8,716)	8,082 (8,082)	92.7 (92.7)
5	財産収入	361 (1)	361 (1)	- (-)	- (-)
6	繰越金	1	1	-	-
7	諸収入	29,263	38,168	▲8,905	▲23.3
合 計		4,203,599 (2,262,941)	4,099,002 (2,772,180)	104,597 (▲509,239)	2.6 (▲18.4)

注:()は、消防分を計上している。

(2)歳 出

年度 款別		令和8年度 予算額(千円)	令和7年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	伸 率 (%)
1	議会費	2,510	2,486	24	1.0
2	総務費	103,534	103,227	307	0.3
3	衛生費	1,821,601	1,198,807	622,794	52.0
4	消防費	2,262,940 (2,262,940)	2,772,179 (2,772,179)	▲509,239 (▲509,239)	▲18.4 (▲18.4)
5	災害復旧費	2 (1)	2 (1)	- (-)	- (-)
6	公債費	3,012	12,301	▲9,289	▲75.5
7	予備費	10,000	10,000	-	-
合 計		4,203,599 (2,262,941)	4,099,002 (2,772,180)	104,597 (▲509,239)	2.6 (▲18.4)

注:()は、消防分を計上している。

7 総 務

(1) 消防職員の定数及び実員

各年4月1日現在

年度別	定 数	実 員	
			うち女性
令 和 8 年 度	253	205	13
令 和 7 年 度	253	203	13
令 和 6 年 度	253	202	13
令 和 5 年 度	253	204	10
令 和 4 年 度	253	203	8

(2) 消防職員の退職及び採用状況

退 職 者 数 (各年3月31日現在)		採 用 者 数 (各年4月1日現在)		
				うち女性
令 和 7 年 度	6	令 和 8 年 度	8	1
令 和 6 年 度	5	令 和 7 年 度	6	
令 和 5 年 度	9	令 和 6 年 度	7	3
令 和 4 年 度	5	令 和 5 年 度	6	2
令 和 3 年 度	4	令 和 4 年 度	3	1

(3) 消防職員の配置状況

令和8年4月1日現在

階 級 所 属	合計	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
合 計	205	1	2	8	20	58	33	20	63
消 防 本 部	21	1	2	2	5	10	1		
宮古消防署	59			2	6	9	13	9	20
山田消防署	34			2	2	8	7	3	12
岩泉消防署	33			2	2	9	7	2	11
田 老 分 署	13				1	6	1	1	4
田野畑分署	16				1	6	1	2	6
新 里 分 署	13				1	6	1	1	4
川 井 分 署	16				2	4	2	2	6

(4)階級別年齢

令和8年4月1日現在

階 級 年 齢	合 計	正 監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
合 計	205	1	2	8	20	58	33	20	63
20 歳未満	11								11
20~25 歳未満	16								16
25~30 歳未満	41							5	36
30~35 歳未満	28						13	15	
35~40 歳未満	30					10	20		
40~45 歳未満	21					21			
45~50 歳未満	17				1	16			
50~55 歳未満	24			1	15	8			
55~60 歳未満	14	1	2	7	4				
60 歳以上	3					3			
平均年齢	37.4	59	58.5	55.9	52.3	46.6	35.1	30.3	24.2

(5)階級別勤続年数

令和8年4月1日現在

階 級 年 数	合 計	正 監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
合 計	205	1	2	8	20	58	33	20	63
1 歳未満	8								8
1~5 年未満	18								18
5~10 年未満	32							1	31
10~15 年未満	39					1	13	19	6
15~20 年未満	27					7	20		
20~25 年未満	26					26			
25~30 年未満	12				3	9			
30~35 年未満	32			4	16	12			
35~40 年未満	4			3	1				
40 年以上	7	1	2	1		3			
平均年数	17.3	41	40	35.6	32.4	25.3	15	11.2	5.1

(6)消防職員の資格取得状況

令和8年4月1日現在

種 別 \ 階 級		合 計	司令長 以 上	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士
自動車	大型自動車(第1種)	149	11	20	48	23	18	29
	中型自動車(第1種)	39			14	17	4	4
	準 中 型 自 動 車	11				1	1	9
	普通自動車(第1種)	205	11	20	58	33	20	63
救急・救助	救 急 救 命 士	61	5	6	29	14		7
	指 導 救 急 救 命 士	6		2	4			
	救急隊員資格者	167	11	20	58	33	20	28
	応急手当指導員	174	11	20	58	33	20	32
	玉 掛 技 能	99	8	13	51	17	9	1
	移 動 式 ク レ ーン	102	7	14	50	20	9	2
	ガ ス 溶 接 技 能	79	9	10	41	14	5	
	小 型 船 舶 操 縦 士	41	2	5	11	9	4	10
	無人航空機(ドローン)	52		2	19	14	1	16
無 線	特殊無線技士(陸上)	195	11	20	56	33	20	55
危険物	危険物取扱者(乙)	57	2	4	18	12	8	13
	危険物取扱者(丙)	14		6	3	4		1
	毒 劇 物 取 扱 者	2			2			
予防技術	防 火 査 察	43	1	5	15	6	9	7
	消 防 用 設 備 等	21		4	8	4	4	1
	危 険 物	20		3	7	3	5	2
その他	消 防 設 備 士 (甲)	4		2	1		1	
	消 防 設 備 士 (乙)	10		2	8			
	衛 生 管 理 者	3	1	2				

(7)岩手県消防学校教育派遣状況

令和7年度

区 分 所 属	合 計	初任 教育	幹部教育		専科教育				特別教育	
			上級	初中級	警防	火災 調査	救助	救急	無線 通信	女性 活躍
合 計	28	6	0	3	3	3	5	7	1	0
消 防 本 部	0									
宮 古 消 防 署	11	2		2	1	1	2	3		
山 田 消 防 署	9	2		1	1	1	2	2		
岩 泉 消 防 署	8	2			1	1	1	2	1	
田 老 分 署	0									
田 野 畑 分 署	0									
新 里 分 署	0									
川 井 分 署	0									

(8)消防大学校及び救急救命士教育派遣状況

令和7年度

区 分 所 属	合 計	消防大学校			東 京 研修所	九 州 研修所	高度救 命救急 センター	県立病院		
		幹部	予防	女性 活躍	養 成 研 修	指 導 救命士	就業前 研 修	気管挿 管養成	就業前 研 修	就業中 研 修
合 計	46	1	1	1	2	0	3	3	3	32
消 防 本 部	0									
宮 古 消 防 署	12		1		1		2	1	2	5
山 田 消 防 署	9				1					8
岩 泉 消 防 署	12			1			1	2	1	7
田 老 分 署	3									3
田 野 畑 分 署	3									3
新 里 分 署	4	1								3
川 井 分 署	3									3

(9)その他の研修状況

令和7年度

区 分	回 数	人 数
財 産 管 理 事 務 研 修	1	1
財 務 事 務 研 修	1	1
契 約 事 務 研 修	1	1
法 規 事 務 研 修	1	2
メンタルヘルス研修	1	3
監 督 者 級 研 修	1	3
合 計	6	11

(10)表 彰

令和7年度

区 分		人 数
消 防 庁 長 官	永 年 勤 続 功 労 章	1
岩 手 県 知 事	功 績 章	4
管 理 者	勤 続 章	5
	功 績 章	6
全 国 消 防 長 会	消 防 特 別 功 労 表 彰	
	永 年 勤 続 表 彰 (3 0 年)	5
全 国 消 防 長 会 東 北 支 部	永 年 勤 続 表 彰 (2 0 年)	5
日 本 消 防 協 会	勤 続 章	5
岩 手 県 消 防 協 会	功 労 章	1
	功 績 章	2
	内 助 功 労	1

(11)ホームページ

消防本部のホームページ(<https://fire.miyako.iwate.jp/>)を開設し、各種情報の提供を行っています。

8 予 防

(1) 予防査察

防火対象物の消防用設備等の適正な設置、維持管理及び防火管理業務の執行状況等について、当組合査察規程に基づき査察を実施しました。

令和7年度における査察実施状況は、次のとおりです。

区 分	1号対象物	2号対象物	3号対象物	合 計
対 象 物 数	691	1,981	381	3,053
査 察 実 施 件 数	595	728	389	1,712

(2) 防火管理再講習

防火管理者に対し、防火管理業務を適切に実施、又は維持していくための必要な知識、技能の更新を図るため、法令に基づき防火管理再講習を実施しました。

令和7年度における防火管理再講習の実施状況は、次のとおりです。

種 別	実施期間	修了者
甲 種 防 火 管 理 再 講 習	令和7年6月 20 日	12 名

(3) 消防用設備等の着工及び設置の届出

消防用設備等は、火災による被害の軽減を図るという消防の目的を達成するため、防火対象物の関係者が一定基準に従って消防用設備等を設置し、適正な維持管理が確保されることが必要であることから、該当対象物について消防用設備等の着工及び設置の届出の徹底を図っています。

令和7年度の着工及び設置の届出状況は、次のとおりです。

種 別	着 工 届	設 置 届
消 火 設 備	6	69
警 報 設 備	27	67
避 難 設 備	4	38
合 計	37	174

(4) 消防用設備等の点検結果報告

消防用設備等は、常にその機能を発揮できるよう定期点検の実施と報告が義務づけられていることから、適正な点検の励行と点検結果の報告の徹底について指導しています。

令和7年度の点検結果報告の状況は、次のとおりです。

区 分	点検を要する防火対象物	報告済防火対象物
特 定 防 火 対 象 物	691	577
非 特 定 防 火 対 象 物	1,981	1,086
合 計	2,672	1,663

(5) 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の者が利用する防火対象物のうち一定の規模又は条件に該当するものについては、防火対象物点検資格者が防火対象物点検基準に基づいて建物が防火基準を満たしているか、また、防火管理が適切に行われているかを点検し、その結果を消防長又は消防署長に報告しなければなりません。

また、優良防火対象物にあつては申請に基づいて点検報告制度の特例を認定した場合に「防火優良認定証」を付することができます。

令和7年度の防火対象物における点検等の状況は、次のとおりです。

要点検対象物	点検報告数	特例認定数
97	14	76

(6) 防災規制

高層建築物、劇場、遊技場、旅館、病院等不特定多数の者や社会的弱者が利用する防災防火対象物で使用するカーテン、じゅうたん、展示用合板等の防災対象物品については、所定の性能を有する防災物品を使用するよう指導しています。

令和8年4月1日現在の防災防火対象物における防災物品の使用状況は、次のとおりです。

防災規制対象物数	カーテン		じゅうたん		展示用合板	
	防災品 使用	防災品 未使用	防災品 使用	防災品 未使用	防災品 使用	防災品 未使用
687	573	114	453	234	446	241

(7) 防火対象物表示制度

ホテル・旅館等からの申請に対して審査を行い、消防法令等の防火基準に適合している建物に「表示マーク」を交付する制度です。任意の制度ですので、表示マークが掲出されていなくても法令違反になることはありませんが、掲出されている建物は、一定の基準に適合しており、その情報を利用者に提供することを目的としています。

表示マークには金・銀の2種類があり、基準に適合した場合、最初は「表示マーク(銀)」(有効期間1年間)が交付され、3年間継続して基準に適合していると認められた場合には「表示マーク(金)」(有効期間3年間)が交付されます。

令和7年度までに「表示マーク(金)」を交付された宿泊施設は、8施設です。

なお、これらの宿泊施設の名称等は、当消防本部のホームページに掲載しています。

(8) 危険物規制

危険物の事故防止のため、危険物施設等に対して施設の位置、構造及び設備並びに危険物の貯蔵、取扱いの技術上の基準の適合と保安体制の確立を図るため指導しています。

(9) 住宅防火対策

近年の火災による死者は、その殆どが住宅火災によるもので、放火自殺者を除いて特に高齢者が犠牲になる割合が極めて高い状況にあります。

今後、更なる高齢化の進行を踏まえ、住宅火災の防止と焼死者をなくすため住宅防火対策の推進が重要であり、特に高齢者世帯については婦人防火クラブ、消防団と協力して防火指導及び住宅用火災警報器の設置促進を図っています。

火災予防条例に基づく住宅用火災警報器は、平成 23 年6月1日から義務設置となっていますが、設置年数が経過したものは電池等の劣化により、正常に作動しない可能性があります。当消防本部では関係機関との連携を密にし、住宅用火災警報器の定期的な交換について周知しています。

(10) 林野火災予防対策

令和7年に岩手県大船渡市で発生した大規模な林野火災並びに全国各地で発生した林野火災を踏まえ、林野火災予防の実効性を高めることを目的として宮古地区広域行政組合火災予防条例を改正し、林野火災に関する注意報及び林野火災の予防を目的とした火災に関する警報を定めました。警報の発令中は火の使用が制限され、注意報の発令中は火の使用の制限に従うよう努めることとされました。

林野火災に関する注意報及び林野火災の予防を目的とした火災に関する警報の発令については、1月から5月の期間において以下の発令基準に該当する場合に発令されます。

林野火災に関する注意報 ※右記のいずれかに該当	前3日間の合計降水量が1mm以下かつ 前 30 日間の合計降水量が 30 mm以下のとき
	前3日間の合計降水量が1mm以下かつ 乾燥注意報が発表されたとき
林野火災の予防を目的とした火災に関する警報	上記林野火災に関する注意報の発令基準に加え 強風注意報が発表されたとき

9 警 防

(1) 消防車両

複雑多様化する各種災害事象に対処するため消防活動の充実強化を重点とした当組合消防施設整備計画に基づき、活動体制を強化しています。

令和8年4月1日現在の車両の保有状況は次のとおりです。

合 計 (台)	消 防 ポン プ 車	水 槽 付 ポン プ 車	化 学 消 防 ポン プ 車	消 防 自 動 車	屈 折 は し ご 付	高 規 格 救 急 車	救 助 工 作 車	水 槽 小 型 動 力 ポン プ 付 車	指 揮 車	資 機 材 搬 送 車	指 導 車 等	ボ ー ト ト レ ー ラー
52	5	7	1	1	11	3		2	3	4	13	2

(2) 消防水利

管内の消防水利は、消火栓 1,004 基、防火水槽 798 基、これにプール・自然水利等を加えると消防水利の総数は、1,842 基となっています。

10 いわて消防指令センター

いわて消防指令センターは、地方自治法第 252 条の2の2第1項の規定に基づき設置された「いわて消防通信指令事務協議会」の担任する事務を管理し、及び執行する機関であり、当消防本部のほか、花巻市消防本部、遠野市消防本部、陸前高田市消防本部、盛岡地区広域消防組合消防本部、釜石大槌地区行政事務組合消防本部、奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部、北上地区消防組合消防本部、二戸地区広域行政事務組合消防本部及び久慈広域連合消防本部の 10 消防本部管内における災害通報の受信、出動指令、無線統制、情報の収集伝達等の消防通信指令事務を共同で運用しています。

この指令センターは、盛岡地区広域消防組合消防本部内に整備され、令和8年4月1日から運用を開始しています。

11 火 災

令和7年における当消防本部管内の出火件数は 27 件(前年比2件増)で、出火率(人口1万人あたりの出火件数)は、3.8 件(前年比 0.3 件増)となっています。

また、火災による死者は1人(前年同数)、負傷者は6人(前年比1人増)発生しています。

12 救急活動状況

救急業務が昭和 38 年に法制化されたことに伴い、昭和 43 年 10 月からスタートした宮古市消防署救急隊は、昭和 49 年4月の広域化とともに構成市町村全域に拡大、現在は3署4分署に高規格救急自動車11台、救急救命士 63 名(うち気管挿管認定 46 名、薬剤投与認定 54 名)を配置し、増加する救急需要への体制を確保するとともに、関係機関と連携のうえ住民に対する応急手当普及員講習会や普通救命講習等を実施し、バイスタンダー(救急現場に居合わせた人)が応急手当を行うことで、生存率や社会復帰率の向上が図られるよう普及啓発活動を推進しています。

令和7年中の当消防本部管内の出動件数は 3,910 件、搬送人員は 3,514 人となっています。

出動件数は、令和6年中 3,834 件と比較し76件の増加、事故種別ごとに見ると、急病が最も多く全体の約 75%を占め、次いで一般負傷、転院搬送、交通事故の順となっています。

13 防災ヘリ・ドクターヘリによる救急搬送

岩手県では航空消防体制の整備を目的として、平成8年3月に防災ヘリ「ひめかみ」を導入し、平成8年 10 月1日から運航を開始しました。防災ヘリは、救助・救急活動のほか、災害防御活動、広域航空消防応援活動、災害予防活動等を行っています。

当消防本部管内で発生した令和7年中の防災ヘリによる活動については、林野火災、救助活動により4件(前年比9件減)出動要請しています。

また、平成 24 年5月8日からは岩手県ドクターヘリが運航を開始しました。ドクターヘリは、専門の医療機器などを搭載し、医師や看護師が搭乗、救急現場から傷病者を治療しながら迅速に医療機関まで搬送します。

当消防本部管内で発生した令和7年中のドクターヘリによる救急搬送件数は 22 件(前年比4件増)となっています。

14 救助活動状況

消防機関の行う救助活動は、沿革的には火災時における人命救助を原点としており、現在は経済、社会活動の変化及び高規格道路の整備に伴い交通事故や労働災害、爆発事故、水難事故など複雑・特異化した災害に及んでいます。

当消防本部では、各消防署に救助工作車を配置しているほか、各分署には初動活動に必要な油圧救助器具などを配置しています。

令和7年中の出動件数は 37 件(前年比6件増)で交通事故が 20 件(54%)を占めており、救助人員は 20 人となっています。

15 緊急消防援助隊

緊急消防援助隊は、平成7年1月17日の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時において、人命救助活動等をより効果的かつ迅速に行えるよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築することを目的とし、平成7年6月に創設されました。

その後、平成15年6月の消防組織法改正により、緊急消防援助隊が法制化され、令和8年4月1日現在、全国で6,971隊(重複登録を除く)が登録されており、指揮支援部隊、航空部隊、エネルギー・産業基盤災害即応部隊、土砂・風水害機動支援部隊、都道府県大隊(都道府県大隊指揮隊、消火中隊、救助中隊、救急中隊、後方支援中隊等)の多岐にわたる精鋭部隊から構成されます。そのうち、当消防本部は消火小隊4隊、救助小隊1隊、救急小隊3隊、後方支援小隊1隊の計9隊が消防庁に登録されています。

平成23年に発生した東日本大震災においては、名古屋市消防局指揮支援部隊が県庁調整本部、横浜市消防局指揮支援隊、秋田県大隊が当消防本部管内で活動しています。また、県内消防相互応援協定に基づき、盛岡地区広域消防組合消防本部が当消防本部管内で活動を行っています。

平成28年の台風10号による豪雨災害においては、仙台市消防局指揮支援部隊が県庁調整本部、東京消防庁指揮支援隊、青森県大隊、宮城県大隊、県内消防相互応援隊(県内10消防本部)が当消防本部管内で活動を行っています。

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震においては、岩手県大隊18隊65名のうち、当消防本部から消火小隊、救急小隊、後方支援小隊の3隊10名を北海道厚真町へ派遣し、行方不明者の捜索及び救急搬送等の活動を行っています。

資 料

予 防 編

防火対象物の現況

令和8年4月1日現在

用 途			市町村別				
			政令防火対象物数				
			合 計	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村
合 計			2,672	1,772	389	328	183
(1)	イ	劇 場 等	8	6	1	1	
	ロ	公 会 堂 等	130	71	21	23	15
(2)	イ	キャバレー等	0				
	ロ	遊 技 場 等	3	2		1	
	ハ	性風俗店舗等	0				
	ニ	カラオケボックス等	0				
(3)	イ	料 理 店 等	1	1			
	ロ	飲 食 店 等	41	29	5	3	4
(4)		百 貨 店 等	115	81	19	13	2
(5)	イ	旅 館 等	47	24	7	11	5
	ロ	共 同 住 宅 等	480	402	49	25	4
(6)	イ	病 院 等	43	35	4	3	1
	ロ	老人福祉施設等	51	32	10	6	3
	ハ	老人デイサービスセンター	85	61	9	12	3
	ニ	幼 稚 園 等	5	4	1		
(7)		学 校	65	47	7	9	2
(8)		図 書 館 等	11	6	2	2	1
(9)	イ	特 殊 浴 場 等	0				
	ロ	一 般 浴 場 等	3	3			
(10)		停 車 場	3	1			2
(11)		神 社 寺 院 等	45	29	7	8	1
(12)	イ	工 場 等	464	273	115	50	26
	ロ	テレビスタジオ等	0				
(13)	イ	駐 車 場 等	28	12	5	8	3
	ロ	航空機格納庫	0				
(14)		倉 庫	285	196	36	35	18
(15)		事 務 所 等	508	271	70	79	88
(16)	イ	特定複合用途	162	114	16	28	4
	ロ	非特定複合用途	89	72	5	11	1
(17)		文 化 財	0				
(18)		ア ー ケ ード	0				

中高層建築物・深層建築物の状況

令和8年4月1日現在

市町村別 階 数		政令防火対象物数				
		合 計	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村
3	階	201	154	22	22	3
4	階	83	67	8	7	1
5	階	33	30	3		
6	階	10	5	4	1	
7	階	3	3			
8	階	2	2			
9	階	3	3			
10	階	0				
11	階	1				1
合 計		336	264	37	30	5
地 下 1 階		39	29	6	2	2
地 下 2 階		5	5			
地下3階以上		0				
合 計		44	34	6	2	2

消防用設備等設置状況

令和8年4月1日現在

消防用 設備等 用 途	消 火 設 備					警 報 設 備			避 難 設 備		消 防 用 水	連 結 送 水 管・散 水 設 備	排 煙 設 備
	屋 内 消 火 栓	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓	動 力 消 防 ポ ンプ	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 等			
合 計	209	78	10	13	13	944	39	299	156	860	1	13	2
(1)	イ	1	1			5		7		8			
	ロ	9	1			51	6	94	9	112			1
(2)	イ												
	ロ					3		2	1	3			
	ハ												
	ニ												
(3)	イ					1			1	1			
	ロ					16	1	16	5	40			
(4)		11	4	4		68	2	31	1	111			
(5)	イ	14	3			43	3	9	9	44		5	
	ロ	3				68	7	4	57	7		1	
(6)	イ	3	9	1		28		6	12	42		1	
	ロ	11	51			51		5	6	51			
	ハ	2				62	9	3	3	84			
	ニ	1				5			2	5			
(7)		47			1	1	60		3	13	32		
(8)		1					8		3		5		
(9)	イ												
	ロ					1	2			1			
(10)										1			
(11)		1				5	3	23		6			
(12)	イ	44		1	10	5	189		6		40	1	
	ロ												
(13)	イ			2			9				1		
	ロ												
(14)		10				7	69		1		10		
(15)		32		1	1		87	1	37	10	84		2
(16)	イ	14	9	1	1		103	4	41	23	155		4
	ロ	5					12	1	8	4	17		1
(17)													
(18)													

用途別建築同意処理状況

令和7年4月1日～令和8年3月 31 日

市町村別 用 途			合 計	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村
合 計			66	42	13	7	4
(1)	イ	劇 場 等	0				
	ロ	公 会 堂 等	0				
(2)	イ	キャバレー等	0				
	ロ	遊 技 場 等	0				
	ハ	性風俗店舗等	0				
	ニ	カラオケボックス等	0				
(3)	イ	料 理 店 等	0				
	ロ	飲 食 店 等	0				
(4)		百 貨 店 等	3	3			
(5)	イ	旅 館 等	0				
	ロ	共 同 住 宅 等	1	1			
(6)	イ	病 院 等	0				
	ロ	老人福祉施設等	0				
	ハ	老人デイサービスセンター	3	1	2		
	ニ	幼 稚 園 等	0				
(7)		学 校	0				
(8)		図 書 館 等	0				
(9)	イ	特 殊 浴 場 等	0				
	ロ	一 般 浴 場 等	0				
(10)		停 車 場	0				
(11)		神 社 寺 院 等	0				
(12)	イ	工 場 等	11	7	1	1	2
	ロ	テレビスタジオ等	0				
(13)	イ	駐 車 場 等	0				
	ロ	航空機格納庫	0				
(14)		倉 庫	9	3	4		2
(15)		事 務 所 等	8	6	2		
(16)	イ	特定複合用途	0				
	ロ	非特定複合用途	0				
専 用 住 宅			11	10		1	
そ の 他			20	11	4	5	

危険物施設の現況

令和8年4月1日現在

市町村別 製造所等の別		合 計	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村
合 計		381	235	55	65	26
製 造 所		0				
貯 蔵 所	小 計	262	166	32	45	19
	屋 内 貯 蔵 所	27	17	4	5	1
	屋外タンク貯蔵所	34	21	7	5	1
	屋内タンク貯蔵所	3	3			
	地下タンク貯蔵所	94	61	9	16	8
	簡易タンク貯蔵所	0				
	移動タンク貯蔵所	95	61	8	18	8
	屋 外 貯 蔵 所	9	3	4	1	1
取 扱 所	小 計	119	69	23	20	7
	給 油 取 扱 所	66	33	13	14	6
	第一種販売取扱所	1	1			
	第二種販売取扱所	0				
	移 送 取 扱 所	0				
	一 般 取 扱 所	52	35	10	6	1

危険物施設の査察実施状況

年度別 製造所等の別		令和5年度	令和6年度	令和7年度
合 計		338	355	389
製 造 所				
貯 蔵 所	小 計	233	244	273
	屋 内 貯 蔵 所	23	23	30
	屋外タンク貯蔵所	21	21	33
	屋内タンク貯蔵所			2
	地下タンク貯蔵所	59	73	77
	簡易タンク貯蔵所			
	移動タンク貯蔵所	122	121	124
	屋 外 貯 蔵 所	8	6	7
取 扱 所	小 計	105	111	116
	給 油 取 扱 所	73	75	71
	第一種販売取扱所			
	第二種販売取扱所			
	移 送 取 扱 所			
	一 般 取 扱 所	32	36	45

危険物関係事務処理状況

年度別 区 分		令和5年度	令和6年度	令和7年度
合 計		88	103	86
申 請	小 計	40	32	25
	設 置 許 可	3	3	2
	設 置 完 成 検 査	4	3	2
	変 更 許 可	10	9	7
	変 更 完 成 検 査	11	8	8
	タ ン ク 検 査	2		
	仮 使 用 承 認	4	3	3
	仮貯蔵(取扱)承認	6	6	3
届 出	小 計	48	71	61
	保安監督者選任	13	33	18
	保安監督者解任	13	33	19
	廃 止	20	3	14
	譲 渡 引 渡	2	2	10

危険物関係手数料徴収状況

(単位:円)

年度別 区 分		令和5年度	令和6年度	令和7年度
合 計		475,600	382,850	308,650
申 請	設 置 許 可	65,000	72,000	39,000
	設 置 完 成 検 査	39,000	36,000	19,500
	変 更 許 可	192,000	159,500	136,500
	変 更 完 成 検 査	109,000	66,750	81,250
	タ ン ク 検 査	22,000		
	仮 使 用 承 認	21,600	16,200	16,200
	仮貯蔵(取扱)承認	27,000	32,400	16,200

林野火災警報の発令状況

令和8年1月1日～令和8年5月 31 日

市町村別 月別		宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村	合 計
1月	回 数	4	4	3	3	5
	日 数	7	6	5	5	8
2月	回 数	5	5	5	5	5
	日 数	6	6	6	6	6
3月	回 数	1				1
	日 数	1				1
4月	回 数	1		1	1	1
	日 数	2		2	2	2
5月	回 数					0
	日 数					0
合計	回 数	11	9	9	9	12
	日 数	16	12	13	13	17

注:月別の合計は、組合管内における回数と日数の重複を除く合計を計上している。

林野火災注意報の発令状況

令和8年1月1日～令和8年5月 31 日

市町村別 月別		宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村	合 計
1月	回 数	8	8	5	6	12
	日 数	18	17	13	16	21
2月	回 数	5	5	5	5	5
	日 数	19	19	19	19	19
3月	回 数	5	3	5	2	7
	日 数	19	8	18	6	19
4月	回 数	4	4	4	4	5
	日 数	10	9	10	10	10
5月	回 数	3	3	3	3	4
	日 数	7	6	7	6	7
合計	回 数	25	23	22	20	33
	日 数	73	59	67	57	76

注:月別の合計は、組合管内における回数と日数の重複を除く合計を計上している。

編 防 警

所属別消防車両等配置状況

令和8年4月1日現在

所属別 区 分	合 計	宮 古 消 防 署	山 田 消 防 署	岩 泉 消 防 署	田 老 分 署	田 野 畑 分 署	新 里 分 署	川 井 分 署
合 計	52	21	10	8	3	3	3	4
消防ポンプ自動車	5	3	1	1				
水 槽 付 消防ポンプ自動車	7	1	1	1	1	1	1	1
化 学 消防ポンプ自動車	1	1						
屈 折 は し ご 付 消 防 自 動 車	1	1						
高規格救急自動車	11	3	2	2	1	1	1	1
救 助 工 作 車	3	1	1	1				
小型動力ポンプ付 水 槽 車	2	1	1					
指 揮 車	3	1	1	1				
資 機 材 搬 送 車	4	1	1	1				1
指令車・指導車	8	2	1	1	1	1	1	1
広 報 車	2	2						
人 員 輸 送 車	1	1						
多 目 的 車	1	1						
業 務 車	1	1						
ボートトレーラー	2	1	1					

所属別主力機械の現況

令和8年4月1日現在

区 分 所属別	種 別	配置 年月	経過 年数	免許 区分
宮古消防署	指令車	H27.3	11	普通
	消防ポンプ自動車(1号車)	H26.3	12	準中
	消防ポンプ自動車(2号車) 【緊援隊】	H30.2	8	準中
	消防ポンプ自動車(3号車) 【緊援隊】	H30.2	8	準中
	水槽付消防ポンプ自動車	H23.2	15	中型
	化学消防ポンプ自動車	R2.3	6	中型
	屈折はしご付消防自動車	R6.2	2	大型
	小型動力ポンプ付水槽車	H22.2	16	大型
	救助工作車 【緊援隊】	R3.1	5	大型
	高規格救急自動車(1号車)	R2.1	6	普通
	高規格救急自動車(2号車)	R4.2	4	普通
	高規格救急自動車(3号車) 【緊援隊】	R4.2	4	普通
	資機材搬送車 【緊援隊】	H31.2	7	準中
	指揮車	H24.3	14	普通
	指導車	H28.12	9	普通
	広報車	H21.8	16	普通
	査察広報車	H23.7	14	普通
	業務車	H22.7	15	普通
	人員輸送車	H29.1	9	中型
	多目的車(軽自動車)	H30.4	8	普通
	ボートトレーラー	R3.9	4	—
山田消防署	消防ポンプ自動車	H30.2	8	準中
	水槽付消防ポンプ自動車 【緊援隊】	R2.2	6	中型
	小型動力ポンプ付水槽車	H29.3	9	大型
	救助工作車	H31.3	7	中型
	高規格救急自動車(1号車)	R5.2	3	普通
	高規格救急自動車(2号車) 【緊援隊】	H30.3	8	普通
	資機材搬送車	H24.3	14	準中
	指揮車	H24.3	14	普通
	指導車	H24.2	14	普通
	ボートトレーラー	R3.9	4	—
	小型動力ポンプ	H24.2	14	—

区 分 所属別	種 別	登録 年月	経過 年数	免許 区分
岩 泉 消 防 署	消防ポンプ自動車 【緊援隊】	R2.2	6	準中型
	水槽付消防ポンプ自動車	R6.3	2	大型
	救助工作車	H29.3	9	大型
	高規格救急自動車(1号車)	R3.1	5	普通
	高規格救急自動車(2号車) 【緊援隊】	R7.2	1	普通
	資機材搬送車	H26.3	12	準中型
	指導車	H22.1	16	普通
	指揮車	H28.2	10	普通
	小型動力ポンプ	H22.10	15	—
田 老 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	H24.3	14	中型
	高規格救急自動車	R6.1	2	普通
	指導車	H24.1	14	普通
	小型動力ポンプ	H23.11	14	—
田 野 畑 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	H29.1	9	大型
	高規格救急自動車	R5.2	3	普通
	指導車	H23.10	14	普通
	小型動力ポンプ	R1.9	6	—
新 里 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	H23.2	15	中型
	高規格救急自動車	R5.3	3	普通
	指導車	H26.1	12	普通
	小型動力ポンプ	H18.12	20	—
川 井 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	R5.8	2	大型
	高規格救急自動車	H31.1	7	普通
	指導車	H22.12	15	普通
	資機材搬送車	H31.2	7	準中型
	小型動力ポンプ	H23.8	14	—

注：【緊援隊】は、緊急消防援助隊の登録車両を表す。

市町村別消防水利の現況

令和8年4月1日現在

市町村別 区 分		合 計	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村
合 計 (a) + (b) + (c)		1,842	1,010	354	348	130
消 火 栓	小 計 (a)	1,004	583	214	161	46
	公 設	1,004	583	214	161	46
	私 設	0				
防 火 水 槽	小 計 (b)	798	406	132	176	84
	公 設	797	405	132	176	84
	うち耐震水槽	219	84	52	25	58
	私 設	1	1			
そ の 他	小 計 (c)	40	21	8	11	0
	河 川 ・ 溝 等	0				
	海 ・ 湖	6	6			
	プ ー ル	33	15	8	10	
	濠 ・ 池 等	1			1	
	下 水 道	0				
	井 戸	0				
	そ の 他	0				
水 利	基 準 数	1,552	725	305	354	168
	現 有 数	1,575	837	286	336	116
	充 足 率	101.5%	115.4%	93.7%	94.9%	69.0%

注: 現有数は、基準数を基に算出した水利の数であり、現況とは異なる値となっている。

通信編

通信施設・装置の状況

令和8年4月1日現在

所属別 区 分		合 計	消 防 本 部	宮 古 消 防 署	山 田 消 防 署	岩 泉 消 防 署	田 老 分 署	田 野 畑 分 署	新 里 分 署	川 井 分 署
消防救急デジタル無線	多重無線局	2	2							
	基地局	6	6							
	簡易基地局	5	5							
	車載型移動局	47		17	9	8	3	3	3	4
	携帯局	67	6	17	12	12	5	5	5	5
	卓上固定移動局	8	1	1	1	1	1	1	1	1
	V－SAT可搬局	3		1	1	1				
	I P 無線機	28	2	6	4	4	3	3	3	3
アナログ	署活系無線機	63	1	18	11	11	6	5	5	6
	防災相互波用無線機	2	2							
消防緊急通信指令装置		1	1							
署所端末		7		1	1	1	1	1	1	1
火災問合せ電話回線数		5	5							
一般加入電話回線数		13	1	3	3	2	1	1	1	1
F A X 回線数		10	3	1	1	1	1	1	1	1
内線電話		106	15	16	17	16	8	11	7	16
地上系携帯電話		9	2	1	1	1	1	1	1	1
地上系携帯電話(車載)		11		3	2	2	1	1	1	1
衛星系携帯電話		8	1	1	1	1	1	1	1	1
衛星系携帯電話(車載)		12		4	2	2	1	1	1	1
衛星トランシーバー		3	3							

火災等の覚知状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

覚知別 \ 区 分	合 計	火災	救急	救助	警戒	その他
1 1 9 (固 定)	2,496	6	1,638	2		850
1 1 9 (携 帯)	1,900	22	1,518	12		348
加 入 電 話	661	4	607	15		35
緊 急 通 報 フ ァ ク シ ミ リ	0					
緊 急 通 報 シ ス テ ム	0					
N E T 1 1 9	1					1
駆 け 付 け	31		30	1		
自 己 覚 知	1		1			
そ の 他	7		1			6
合 計	5,097	32	3,795	30	0	1,240

119番の受信状況

令和7年1月1日～令和7年 12 月 31 日

区 分		所属別	合 計	管 轄 所 属 等							
				宮 古 消 防 署	山 田 消 防 署	岩 泉 消 防 署	田 老 分 署	田 野 畑 分 署	新 里 分 署	川 井 分 署	管 轄 外 不 明
合 計			5,097	2,693	917	449	278	177	227	317	19 20
火災等	小 計		3,907	2,070	734	375	237	148	193	150	0 0
	火 災	119 固定	6	3	2	1					
		119 携帯	22	11	2	3	3	3			
		加 入	4	1		2	1				
		そ の 他	0								
		小 計	32	15	4	6	4	3	0	0	0 0
	救 急	119 固定	1,639	914	257	149	105	44	109	61	
		119 携帯	1,518	846	348	106	91	32	52	43	
		加 入	606	255	104	97	30	53	29	38	
		そ の 他	32	4	10	1	6	9	2		
		小 計	3,795	2,019	719	353	232	138	192	142	0 0
	救 助	119 固定	2				1	1			
		119 携帯	12	5	2	2				3	
		加 入	15	5	1	5		2		2	
		そ の 他	1							1	
		小 計	30	10	3	7	1	3	0	6	0 0
	警 戒		0								
	調 査		50	26	8	9		4	1	2	
その他	小 計		1,190	623	183	74	41	29	34	167	19 20
	誤 報		7	6	1						
	間 違 い		143	91	22	11	4	2	3	6	4
	い た ず ら		1						1		
	試 験 ・ 訓 練		447	216	42	24	22	11	15	117	
	そ の 他		592	310	118	39	15	16	15	44	19 16

気象予警報・津波予報等の発表状況

警報・注意報種別		合 計	1月	2月	3月	4月	5月
特別警報	波 浪	0					
	大 雨	0					
	大 雪	0					
	暴 風	0					
	暴 風 雪	0					
	高 潮	0					
小 計		0	0	0	0	0	0
警 報	波 浪	5			1		1
	大 雨	4					
	洪水	2					
	大 雪	0					
	暴 風	6					
	暴 風 雪	7	1	2	1		1
	高 潮	0					
小 計		24	1	2	2	0	2
注意報	乾 燥	18	3	5	5		
	強 風	81	9	6	10	10	9
	大 雨	15				1	1
	洪水	9					
	波 浪	53	4	4	6	5	7
	高 潮	0					
	濃 霧	112	2		1	11	11
	大 雪	11	3	2	3		
	風 雪	21	7	6	2		
	着 雪	11	3	2	3		
	融 雪	0					
	低 温	0					
	な だ れ	7	1	2	4		
	霜	16			1	6	4
	雷	70	2	1	2	11	4
小 計		424	34	28	37	44	36

令和7年1月1日～令和7年 12 月 31 日

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
0	0	0	0	0	0	0
	1			1		1
		1	2		1	
		1			1	
	1		2	1		1
						3
0	2	2	4	2	2	5
					2	3
3	2		7	9	7	9
1	2	3	4	1	2	
1	2	2	2		2	
2	3	3	4	5	4	6
9	14	11	18	17	10	8
						3
						6
						3
				5		
7	11	9	9	4	7	3
23	34	28	44	41	34	41

警報・注意報種別		合 計	1月	2月	3月	4月	5月
情 報	台 風	5					
	大 雨	82					4
	大 雪	11	3		8		
	そ の 他	89	2	11	13	4	5
小 計		187	5	11	21	4	9
土砂災害警戒情報		0					
火 災 気 象 通 報		117	15	25	24	8	11
合 計		304	20	36	45	12	20
大 津 波 警 報		0					
津 波 警 報		2					
津 波 注 意 報		5					
津 波 予 報		35					
小 計		42	0	0	0	0	0
津 波 情 報		196					
地 震 情 報		309	10	19	19	19	19
合 計		547	10	19	19	19	19

注1: 気象予警報は、令和7年中に「宮古地域」を対象に発表されたもの及び宮古地域の「市町村」に発表されたもの。

注2: 気象情報のその他は、強風、暴風、雷、突風、高波、暴風雪、低温、黄砂等の岩手県気象情報を計上している。

注3: 大雨特別警報・大雨警報の発表回数は、土砂災害と浸水害を区別しない。

注4: 津波警報等、津波情報及び地震情報は、令和7年中に「岩手県」を対象に発表されたもの。

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	5					
4	15	22	29	4	4	
6	3	9	5	4	9	18
10	23	31	34	8	13	18
1	2		6	4	10	11
11	25	31	40	12	23	29
	1					1
	2					3
1	14	3	4	1	6	6
1	17	3	4	1	6	10
	154				16	26
22	25	22	12	18	66	58
23	196	25	16	19	88	94

火 災 編

火災の発生状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

市町村別 区 分		合 計	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村
出火件数	合 計	27	16	4	4	3
	建 物	15	8	3	2	2
	林 野	4	2	1		1
	車 両	0				
	船 舶	0				
	航 空 機	0				
	そ の 他	3	2		1	
焼損棟数	合 計	34	20	3	9	2
	全 焼	18	13		4	1
	半 焼	3	2	1		
	部 分 焼	10	4	1	4	1
	ぼ や	3	1	1	1	
焼損面積	床面積(㎡)	3,386	2,615	84	549	138
	表面積(㎡)	22	12	1	4	5
	林 野 (a)	31	25	5		1
り災世帯数	合 計	13	5	2	5	1
	全 損	7	3		3	1
	半 損	1		1		
	小 損	5	2	1	2	
死傷者	合 計	7	6			1
	死 者	1	1			
	負 傷 者	6	5			1
損害額(千円)	合 計	86,088	44,755	13,074	25,901	2,358
	建 物	80,666	40,600	12,944	24,767	2,355
	林 野	1,217	1,084	130		3
	車 両	4,175	3,065		1,110	
	船 舶	0				
	航 空 機	0				
	そ の 他	30	6		24	
出 火 率		3.8	3.5	2.9	5.1	10.4

注:出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。

火災の月別の発生状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

市町村別 月 別	合 計	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村
1 月	0				
2 月	4	2	1	1	
3 月	5	2	2	1	
4 月	2	2			
5 月	1	1			
6 月	2	2			
7 月	1			1	
8 月	1	1			
9 月	2		1		1
10 月	5	4			1
11 月	2	2			
12 月	2			1	1
合 計	27	16	4	4	3

火災原因別出火件数

令和7年1月1日～令和7年12月31日

市町村別 区 分	合 計	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村
排 気 管	3	2		1	
こ ん ろ	2	1	1		
ス ト ー ブ	2	2			
煙 突 ・ 煙 道	2		1	1	
電灯・電話等の配線	1	1			
火 遊 び	1	1			
た き 火	1	1			
取 灰	1			1	
そ の 他	6	3	1	1	1
不 明	8	5	1		2
合 計	27	16	4	4	3

過去 10 年間の出火件数の推移(市町村別)

各年 12 月 31 日現在

年 別 \ 市町村別	合 計	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村
令和 7 年	27	16	4	4	3
令和 6 年	25	15	5	4	1
令和 5 年	28	16	5	4	3
令和 4 年	31	13	9	6	3
令和 3 年	15	8	3	4	
令和 2 年	28	14	6	6	2
令和 元年	36	23	6	6	1
平成 30 年	25	14	1	8	2
平成 29 年	31	21	3	7	
平成 28 年	32	22	3	4	3

過去 10 年間の出火件数の推移(種別)

各年 12 月 31 日現在

年 別 \ 区 分	合 計	建物火災	林野火災	車両火災	その他 火 災
令和 7 年	27	15	4	5	3
令和 6 年	25	14	5	2	4
令和 5 年	28	12	4	2	10
令和 4 年	31	17	4	5	5
令和 3 年	15	9	2	2	2
令和 2 年	28	11	3	3	11
令和 元年	36	18	9	2	7
平成 30 年	25	14	5	4	2
平成 29 年	31	16	4	7	4
平成 28 年	32	16	5	4	7

過去 10 年間の火災による損害額の推移(市町村別)

各年 12 月 31 日現在

(単位:千円)

市町村別 年 別	合 計	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村
令和 7 年	86,088	44,755	13,074	25,901	2,358
令和 6 年	421,870	411,771	314	9,785	
令和 5 年	26,106	19,079	3,760	105	3,162
令和 4 年	34,118	17,338	14,526	917	1,337
令和 3 年	25,821	5,322	4,474	16,025	
令和 2 年	35,489	12,075	1,060	21,359	995
令和 元年	119,333	82,734	31,859	3,306	1,434
平成 30 年	149,169	135,300	6,697	4,332	2,840
平成 29 年	35,152	23,009	247	11,896	
平成 28 年	83,958	64,593	7,241	10,337	1,787

過去 10 年間の火災による損害額の推移(種別)

各年 12 月 31 日現在

(単位:千円)

区 分 年 別	合 計	建物火災	林野火災	車両火災	その他 火 災
令和 7 年	86,088	80,666	1,217	4,175	30
令和 6 年	421,870	72,920	347,626	409	915
令和 5 年	26,106	21,210	379	332	4,185
令和 4 年	34,118	28,274	2,222	3,109	513
令和 3 年	25,821	23,347	369	2,100	5
令和 2 年	35,489	33,947	988	293	261
令和 元年	119,333	114,735	3,310	247	1,041
平成 30 年	149,169	34,918	42,631	607	71,013
平成 29 年	35,152	32,334	172	2,645	1
平成 28 年	83,958	73,171	772	605	9,410

救 急 編

救急活動状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

種別 所属別		合 計	救急事故種別										
			火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他
宮古消防署	出動 件数	2,079	4		3	62	5	9	240	4	18	1,552	182
	搬送 人員	1,872	1		1	50	5	9	230	2	8	1,391	175
山田消防署	出動 件数	731				12	8	1	100	2	6	548	54
	搬送 人員	657				10	8	1	93	2	4	489	50
岩泉消防署	出動 件数	340	2		1	9	5	1	47	2	1	234	38
	搬送 人員	298				5	5	1	41	2		207	36
田老分署	出動 件数	268	4		1	9	2	1	29		1	210	11
	搬送 人員	251	3			7	2	1	27			201	10
田野畑分署	出動 件数	147			1	1			17		3	117	8
	搬送 人員	127							16			103	8
新里分署	出動 件数	204				9	5		19			160	11
	搬送 人員	180				4	5		18			142	11
川井分署	出動 件数	141				12	3		16		1	99	10
	搬送 人員	129				13	3		16			88	9
合計	出動 件数	3,910	10		6	114	28	12	468	8	30	2,920	314
	搬送 人員	3,514	5		1	89	28	12	441	6	12	2,621	299

救急出動の月別の状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

種別 月別	合 計	救急事故種別										
		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
1 月	386				3	2	1	50	1	2	297	30
2 月	299				7	3		36		1	229	23
3 月	299	3			14			38		4	216	24
4 月	310			1	4	3	2	36		2	229	33
5 月	319	2		1	7	3	1	44	2	4	228	27
6 月	338			1	10	6	1	32		1	258	29
7 月	311			1	9	5	2	34		1	237	22
8 月	336				15	1	1	48		2	244	25
9 月	318	2		2	13	3	1	50	1	2	224	20
10 月	328	1			16	1	1	33	2	7	231	36
11 月	355	1			6	1	2	32	2	1	282	28
12 月	311	1			10			35		3	245	17
合 計	3,910	10		6	114	28	12	468	8	30	2,920	314

搬送人員の月別の状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

種別 月別	合 計	救急事故種別										
		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
1 月	335				3	2	1	47			252	30
2 月	263				6	3		33			198	23
3 月	267	1			8			36		2	196	24
4 月	290			1	3	3	2	36			213	32
5 月	285	1			3	3	1	42	2	3	206	24
6 月	311				9	6	1	31			237	27
7 月	281				4	5	2	30			220	20
8 月	307				13	1	1	47			222	23
9 月	293	1			9	3	1	48	1	1	209	20
10 月	297	2			15	1	1	31	2	4	206	35
11 月	319				11	1	2	29	1	1	248	26
12 月	266				5			31		1	214	15
合 計	3,514	5		1	89	28	12	441	6	12	2,621	299

救急出動の曜日別の状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

種 別 曜日別	合 計	救急事故種別										
		火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他
月 曜 日	604	1			14	4		64		4	458	59
火 曜 日	523	2			15	4	1	70	1	7	372	51
水 曜 日	554	1			21	4	1	58	1	9	404	55
木 曜 日	540	3		2	12	3	1	57	1	1	421	39
金 曜 日	597			1	19	8	4	66	2	3	423	71
土 曜 日	523	1		3	17	2	2	80	2	2	392	22
日 曜 日	569	2			16	3	3	73	1	4	450	17
合 計	3,910	10		6	114	28	12	468	8	30	2,920	314

救急出動の時間別の状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

種 別 時間別		合 計	救急事故種別										
			火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他
時間別内訳	0 ～ 2	148	1			3			9			134	1
	2 ～ 4	118							9	1	2	100	6
	4 ～ 6	175	1			3			17		3	146	5
	6 ～ 8	366	1		1	8	3		34		5	307	7
	8～10	576	1			18	3		79		3	404	68
	10～12	509	2			19	9	3	59	2		355	60
	12～14	460	1		3	15	5	1	69	1	4	299	62
	14～16	404				21	4	2	54		2	271	50
	16～18	392			1	13	3	1	55	1	3	279	36
	18～20	352				9	1	4	40	1	5	281	11
	20～22	226	2		1	4		1	23	1	3	187	4
	22～24	184	1			1			20	1		157	4
合 計		3,910	10		6	114	28	12	468	8	30	2,920	314

救急出動の現場到着所要時間別の状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

種 別 時間別	合 計	救急事故種別										
		火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他
3分未満	37				1			3			22	11
3分以上5分未満	136						1	11			57	67
5分以上10分未満	1,590				39	10	6	192	1	4	1,164	174
10分以上20分未満	1,756	2		5	47	12	5	213	5	19	1,395	53
20分以上	391	8		1	27	6		49	2	7	282	9
合 計	3,910	10		6	114	28	12	468	8	30	2,920	314

搬送人員の収容所要時間別の状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

種 別 時間別	合 計	救急事故種別										
		火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他
10分未満	0											
10分以上20分未満	7							3			4	
20分以上30分未満	394				8	2	3	43			288	50
30分以上60分未満	2,255	3		1	51	14	8	284	2	7	1,760	125
60分以上120分未満	776	1			24	11	1	99	4	5	548	83
120分以上	82	1			6	1		12			21	41
合 計	3,514	5		1	89	28	12	441	6	12	2,621	299

搬送人員の傷病程度別の状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

種別 程度別	合 計	救急事故種別										
		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他
死 亡	112				3			7		2	98	2
重 症	485	1			7	3	1	50	1	2	311	109
中 等 症	1,337	2		1	20	7	1	150		6	990	160
軽 症	1,580	2			59	18	10	234	5	2	1,222	28
そ の 他	0											
合 計	3,514	5		1	89	28	12	441	6	12	2,621	299

死 亡:初診時において死亡が確認されたもの

重 症:傷病の程度が三週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症:傷病の程度が入院加療を必要とするもので重症に至らないもの

軽 症:傷病の程度が入院加療を必要としないもの

その他:医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

搬送人員の年齢区分別の状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

種別 年齢区分	合 計	救急事故種別										
		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他
新 生 児	0											
乳 幼 児	59				4			9			40	6
少 年	76				4		8	13		1	41	9
成 人	706	3			41	23	4	66	3	7	491	68
高 齢 者	2,673	2		1	40	5		353	3	4	2,049	216
合 計	3,514	5		1	89	28	12	441	6	12	2,621	299

新生児:生後28日以内の者

乳幼児:生後29日以上満7歳未満の者

少 年:満7歳以上18歳未満の者

成 人:満18歳以上65歳未満の者

高齢者:満65歳以上の者

過去 10 年間の救急出動件数の推移(所属別)

所属別 年 別	合 計	宮 古 消 防 署	山 田 消 防 署	岩 泉 消 防 署	田 老 分 署	田 野 畑 分 署	新 里 分 署	川 井 分 署
令和 7 年	3,910	2,079	731	340	268	147	204	141
令和 6 年	3,834	2,005	723	379	249	172	156	147
令和 5 年	4,047	2,146	786	381	258	161	175	140
令和 4 年	3,615	1,927	659	354	250	153	153	119
令和 3 年	3,591	1,812	742	380	213	157	166	121
令和 2 年	3,420	1,796	652	384	189	138	145	116
令和 元年	3,822	2,007	722	441	170	160	185	137
平成 30 年	4,120	2,183	758	486	187	166	202	138
平成 29 年	4,065	2,241	703	448	200	168	166	139
平成 28 年	4,033	2,146	707	480	220	157	181	142

過去 10 年間の救急出動件数の推移(種別)

種 別 年 別	合 計	救急事故種別										
		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
令和 7 年	3,910	10		6	114	28	12	468	8	30	2,920	314
令和 6 年	3,834	6		4	113	24	15	472	5	22	2,847	326
令和 5 年	4,047	9		9	114	19	21	496	7	26	3,023	326
令和 4 年	3,615	8	1	13	84	27	11	494	4	29	2,629	315
令和 3 年	3,591	5		7	125	36	12	490	4	24	2,549	339
令和 2 年	3,420	1	1	6	131	39	7	417	6	38	2,457	317
令和 元年	3,822	9	2	4	164	36	15	465	16	19	2,757	335
平成 30 年	4,120	7	1	7	181	34	10	479	18	29	2,955	396
平成 29 年	4,065	5		9	173	44	21	480	10	29	2,926	368
平成 28 年	4,033	2	2	5	194	36	23	433	11	32	2,898	397

救 助 編

救助活動状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

種 別 所属別		合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 事 故
			建 物	建 物 以 外								
合 計	出動件数	37	1		20	4			1	1		10
	活動件数	16			7	2						7
	救助人員	20			10	3						7
宮 古 消 防 署	出動件数	16	1		9	1			1	1		3
	活動件数	7			4							3
	救助人員	8			5							3
山 田 消 防 署	出動件数	3			1	1						1
	活動件数	1				1						
	救助人員	1				1						
岩 泉 消 防 署	出動件数	6			3	1						2
	活動件数	3				1						2
	救助人員	4				2						2
田 老 分 署	出動件数	2			2							
	活動件数	1			1							
	救助人員	1			1							
田 畑 分 署	出動件数	3				1						2
	活動件数	1										1
	救助人員	1										1
新 里 分 署	出動件数	1			1							
	活動件数	1			1							
	救助人員	1			1							
川 井 分 署	出動件数	6			4							2
	活動件数	2			1							1
	救助人員	4			3							1

過去 10 年間の救助出動件数の推移(所属別)

所属別 年 別	合 計	宮 古 消 防 署	山 田 消 防 署	岩 泉 消 防 署	田 老 分 署	田 野 畑 分 署	新 里 分 署	川 井 分 署
令和 7 年	37	16	3	6	2	3	1	6
令和 6 年	31	7	5	7	2	1	2	7
令和 5 年	31	14	3	4	1	4	2	3
令和 4 年	27	9	6	7		1		4
令和 3 年	41	15	9	8	1	3	3	2
令和 2 年	44	17	9	9	2	2	1	4
令和 元 年	48	19	4	10	4	2	4	5
平成 30 年	53	20	4	9	1	2	8	9
平成 29 年	50	16	8	10	1	3	3	9
平成 28 年	53	21	7	13	1	1	4	6

過去 10 年間の救助出動件数の推移(種別)

種 別 年 別	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 事 故
		建 物	建 物 以 外								
令和 7 年	37	1		20	4			1	1		10
令和 6 年	31	1		11	2	1	2	1			13
令和 5 年	31			15	7		1				8
令和 4 年	27			4	11		4	2			6
令和 3 年	41	1		19	8		2				11
令和 2 年	44	1		19	4		2	2			16
令和 元 年	48	2		21	3	10	2				10
平成 30 年	53	1		30	6		2	3			11
平成 29 年	50	3		28	3		3				13
平成 28 年	53			28	3	15	2				5

消防団編

消防力の現況

令和8年4月1日現在

区 分 市町村別	分団数	定 員	実 員	消 防 ポンプ車	積載車	資機材 搬送車	その他の 車 両	小型動力 ポ ン プ
宮 古 市	45	1,200	865	46	21		1	55
山 田 町	13	400	255	13		2	2	13
岩 泉 町	8	617	419	16	24	1	3	41
田野畑村	4	240	163	6	9		1	9
合 計	70	2,457	1,702	81	54	3	7	118

年齢別消防団員数

令和8年4月1日現在

区 分 市町村別	20 歳 未 満	20 歳～ 29 歳	30 歳～ 39 歳	40 歳～ 49 歳	50 歳～ 59 歳	60 歳 以 上	合 計	平 均 年 齢
宮 古 市	1	50	107	216	205	269	848	51.7
			3	4	5	5	17	
山 田 町	1	34	41	74	69	34	253	45.5
			1	1			2	
岩 泉 町		10	77	98	112	115	412	50.9
			2	2		3	7	
田野畑村		8	19	41	50	43	161	51.2
				1	1		2	
合 計	2	102	244	429	436	461	1,674	49.8
	0	0	6	8	6	8	28	

注:上段は男性消防団員、下段は女性消防団員の数を表す。

在職年数別消防団員数

令和8年4月1日現在

区 分 市町村別	5 年 未 満	5年～ 9年	10 年～ 14 年	15 年～ 19 年	20 年～ 29 年	30 年 以 上	合 計	平 均 在 職 年 数
宮 古 市	78	107	95	121	176	271	848	22.0
	11	4	1	1			17	
山 田 町	29	35	36	44	66	43	253	18.5
	1	1					2	
岩 泉 町	27	47	80	43	115	100	412	16.0
	2	2	1		2		7	
田野畑村	11	11	18	17	69	35	161	21.9
					2		2	
合 計	145	200	229	225	426	449	1,674	19.6
	14	7	2	1	4	0	28	

注:上段は男性消防団員、下段は女性消防団員の数を表す。

令和7年版 消防年報

令和8年7月発行

編集・発行 宮古地区広域行政組合消防本部総務課
〒027-0072 岩手県宮古市五月町2番1号
電話 (0193)-71-1193
URL <https://fire.miyako.iwate.jp/>
